


今後5年間、東京都スポーツ文化事業団は……

**提案に当たって**

2020年オリンピック・パラリンピックに向け、多種多彩な事業・イベント等を展開し、ここ、1964年東京オリンピックのレガシーを受け継ぐ駒沢からスポーツムーブメントを積極的に発信します。




公益財団法人としての役割・使命を十分に認識し、公平性・信頼性を兼ね備えた事業団の強みを活かしつつ、都施策の目的・ねらいに素早く的確に呼応しながら「スポーツ都市東京」の実現を全力でサポートしていきます。

平均90%超の高稼働率や窓口サービスの一元化など様々な利用価値・サービスの実績を積み重ねてきた事業団が、8年間の経験・ノウハウ・人材を結集し、総力を挙げてさらに高い水準の安全・安心・快適な施設運営を実現させます。

事業計画の項目 具体的な取組

【1 重点項目】

<p>1-1 公園との連携協力</p>	<p>1 公園との連携協力による質の高いサービス提供の取組</p>	<p>8年間の一体管理ノウハウを活かし、公園指定管理者と緊密な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「公園連絡調整」担当職員の配置</li> <li>■定期的な会議体の開催</li> <li>■垣根を払った利用者への情報提供・PR</li> <li>■それぞれの役割を踏まえた「合同防災訓練」の実施</li> <li>■気象災害時における支援</li> <li>■公園を活用したスポーツ事業の展開</li> <li>■魅力溢れる東京オリンピック50周年・開園50周年イベントの開催</li> </ul>
<p>1-2 大規模工事への対応</p>	<p>1 大規模改修工事への対応</p>  <p>●テニスコートリニューアルオープン(平成25年6月)</p>	<p>都との連携・協力、計画的な利用調整 ⇒ ■利用調整による大規模大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■工事内容に応じた施設の有効利用</li> <li>■綿密な調整・対策による利用者の安全確保</li> <li>■利用者への情報提供</li> </ul> <p>都との役割分担 ⇒ ■長期保全に関する提案書の作成、効率的な要望・提案・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■連動した小規模補修・修理の実施</li> </ul> <p>リニューアルオープン施設における記念イベントの実施 ⇒ ■屋内球技場・第一球技場、弓道場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■メディアを活用した広報展開</li> </ul>

【2 管理運営項目】

<p>2-1 管理運営の基本方針</p>	<p>1 管理運営の基本方針</p>	<p>「東京都スポーツ推進計画」「東京都障害者スポーツ振興計画」等に沿った管理運営 ⇒ ■実施率の向上など「スポーツ都市東京」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「2020年の東京」計画における「四大スポーツクラスター」のひとつとして、大規模大会・国際大会の会場へ</li> <li>■スポーツの機会・場の提供ができる「身近な施設」を目指す</li> </ul> <p>高稼働率の継続と事業団管理施設との連携 / 国立競技場等の改修による各種大会の動向を踏まえた、きめ細かな対応</p> <p>公共性の担保と収益性向上 / 8年間のノウハウを活かした老朽施設・改修施設の適切な運営管理</p>
<p>2-2 施設の提供に関する業務</p>	<p>1 施設の提供に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 休館日及び開館時間</li> <li>(2) 施設提供の実施方針</li> <li>(3) 使用申請及び使用承認</li> <li>(4) 利用料金</li> </ul> <p>2 施設の運営に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) トレーニングルーム運営業務</li> <li>(2) 東京オリンピックメモリアルギャラリー運営業務</li> </ul> <p>3 館内サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 受付案内</li> <li>(2) 苦情・要望等に対する対応等</li> </ul>	<p>休館日 ⇒ ■規則どおり、月の第3月曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■学校の休暇期間では休館日の日程移動や削減も検討</li> <li>■年末年始は3日間に短縮</li> </ul> <p>開館時間 ⇒ ■原則、現行の規則どおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■早朝開場や時間延長の希望には最大限の配慮</li> </ul> <p>「全都・広域」「総合運動場」「スポーツクラスター」など都の施策に沿った提供 / 夢・感動を与える質の高い大会誘致</p> <p>「スポーツ・フォア・オール」実現に向けた個人利用施設の提供 / 安心・安全・快適な施設環境の整備</p> <p>団体利用 ⇒ ■優先受付：都と調整し年1回受付の検討、大規模改修との兼合い・整合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■一般受付</li> </ul> <p>個人利用 ⇒ 一般公開日程の十分な周知期間</p> <p>東京都体育施設条例に定める範囲内 / 都の規定による適正な減額・免除 / 直前割引の継続</p> <p>利用者拡大策の推進 ⇒ 早朝ランナーの需要取込み・閉館時間の繰下げの試行、1ヶ月・1日パスの発行検討</p> <p>利用者のニーズに応じたプログラムの展開・定期的見直し</p> <p>常設展示・企画展示や展示の入替えによる情報の発信 / イベントの開催などオリンピック・パラリンピックムーブメントへの協力</p> <p>ツアーの誘致・グッズの制作など来場者拡大への取組</p> <p>スポーツ施設・公園窓口一体管理のノウハウ活用 / 施設・事業を熟知した者の配置 / ホスピタリティ・接客訓練の徹底</p> <p>利用者アンケートの実施 / 「ご意見箱」の継続実施・公園指定管理者との連携</p>

事業計画の項目		具体的な取組
2-3 事業に関する業務	1 館の事業に関する業務	(1) スポーツ振興事業 「東京都スポーツ推進計画」など、「スポーツ都市東京」の実現に即した事業体系「駒沢そだち」の参加者輩出 ⇒ 2020 大会で <b>オリンピック・パラリンピアン・ボランティア</b> 等として活躍 子どもの体力向上、働く世代、高齢者、障害者、新たなスポーツ人口の拡大等を目的に展開
		(2) 自主事業 <b>都民ニーズの高い事業中心</b> / <b>NPO・大学・企業・各競技団体</b> と幅広く連携 駒沢ランナーズフェスタ(理事長杯)、駒沢ジュニアベースボール大会(理事長杯)等を展開
		(3) 体育の日記念事業 <b>都との連携</b> による駒沢の特性を活かした <b>多彩なスポーツイベント</b> ⇒ <b>スポーツ博覧会・東京、青少年サッカーフェスティバル</b>
		(4) 利用者に対するサービス提供事業 自動販売機・貸しロッカー設置、 <b>カフェテリア・トレーニングルーム入口</b> のリニューアル、 <b>新専用駐車場の活性化</b> 等
	2 館の事業を支える仕組み	(1) 広報 <b>要覧、ホームページ、「スマイルスポーツ」誌</b> に加え、 <b>Twitter</b> による <b>攻めの広報</b>
		(2) 業務の品質管理 (利用者懇談会の開催等) <b>利用者懇談会</b> の開催 / <b>顧客満足度調査</b> の実施 / <b>ご意見箱</b> を通じた要望・ニーズの把握 <b>PDCA サイクル</b> による業務改善
		(3) 外部資金導入等による事業の充実 自主事業等における <b>スポーツ用品・健康食品メーカー</b> 等からの協賛 / <b>東京マラソンチャリティ“つなぐ”</b> からの支援の活用 <b>50周年記念イベント</b> における寄附金募集 / <b>利用者サービス事業</b> における民間企業等とのタイアップ
		1 館の管理に関する業務等
(2) 施設の修繕 <b>適時適切</b> な対応 / 利用者の <b>利便性確保</b> / 「 <b>連絡調整会議</b> 」による状況把握 / 日常の <b>軽微な修繕</b> / 都との <b>役割分担</b> (250 万円以下)		
(3) 危機管理及び災害対応 「 <b>東京都地域防災計画</b> 」等に沿った取組 ⇒ 駒沢は、「 <b>帰宅困難者一時滞在施設</b> 」「 <b>大規模救出救助活動拠点</b> 」「 <b>避難場所</b> 」 「 <b>医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場候補地</b> 」等に指定 <b>都・区・公園指定管理者</b> との連携・協力 / 「 <b>現地機動班</b> 」受入態勢の整備 職員の態勢 ⇒ ■ <b>自衛消防隊</b> の編成 ■ <b>職員の参集</b> ■ 定期的な <b>防災訓練・講習会</b> 施設利用者の安全確保 ⇒ ■ 「 <b>安全点検パトロール</b> 」等による定期点検 ■ 定期的な <b>救命講習</b> による <b>全職員の資格取得</b> その他の安全対策 ⇒ ■ <b>熱中症・ゲリラ豪雨・雷</b> 等に対する注意喚起 ■ <b>Twitter</b> 等による情報発信 ■ <b>AED・薬品</b> 等の常備 ■ <b>事故・急病等に備えた賠償責任保険</b> への加入 <b>●ゲリラ豪雨に関するツイートと反応</b>		
2 その他管理運営に関する事項	(1) 個人情報の保護について <b>プライバシーマーク</b> の取得・更新 具体的な取組 ⇒ ■ <b>管理責任者の明確化</b> ■ <b>マニュアル</b> の作成・ <b>研修</b> 等の実施 ■ <b>利用者への周知</b>	
	(2) 環境配慮への取組 具体的な取組 ⇒ ■ <b>太陽光発電</b> の推進 ■ <b>省エネルギー</b> の徹底による <b>CO<sub>2</sub></b> の削減等 ■ <b>緑化</b> の推進	
2-5 収支計画	黒字が生じた場合は施設補修費等へ充当して <b>還元</b> 、万一赤字が生じた場合は <b>事業団全体で対応</b>	
2-6 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な執行体制の確保	所長・副所長のもと、 <b>業務ごとにライン化</b> した簡明な組織体制 / 事業団全体からの応援態勢など <b>柔軟な組織運営</b> <b>有資格者</b> の配置・ <b>資格取得</b> の奨励 / 委託事業者等による <b>専門性の活用</b>
	2 明確な責任体制の構築	施設総括責任者(所長)、施設総括副責任者(副所長)、各部門に責任者(課長)を配置した <b>明確な責任体制</b>
	3 適切な勤務体制等	無理のない勤務ローテーションによる <b>業務品質の確保</b> / <b>マルチジョブ化</b> による効率的な組織体制の構築
	4 人材育成の取組	<b>目標管理</b> によるスキル向上 / 産業医等による職場を中心とした <b>労働環境の整備</b> / <b>外部研修・資格取得</b> の奨励



●「駒沢そだち」の輩出

